



平成 20年 3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成 20年 2月 5日

上場会社名	フジ日本精糖株式会社	上場取引所	東証二部
コード番号	2114	URL	http://www.fnsugar.co.jp
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	江口達夫
問合せ先責任者	(役職名) 執行役員管理本部本部長	(氏名)	福田 弘 TEL (03) 3667 - 7811

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1)連結経営成績 (百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	10,079	1.1	960	23.7	1,093	21.3	764	41.2
19年3月期第3四半期	9,968	4.6	776	443.4	901	234.1	541	148.5
19年3月期	12,801		918		1,097		554	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	27	93	—	—
19年3月期第3四半期	19	91	—	—
19年3月期	20	34	—	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2)連結財政状態 (百万円未満切捨て)

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
20年3月期第3四半期	15,771		11,439		72.5	418	69	
19年3月期第3四半期	15,757		11,319		71.8	416	45	
19年3月期	15,221		11,181		73.5	407	80	

2. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	13,000	1.6	1,000	8.8	1,200	9.3	800	44.4	29	22

※上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

3. その他

- | | | |
|---|---|---|
| (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) | : | 無 |
| (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 | : | 有 |
| (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 | : | 有 |

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期のが国経済は、企業収益の改善や底堅い個人消費に牽引され、概ね回復基調で推移しましたが、米国サブプライムローン問題及び原油価格高騰の長期化など、依然として先行きは不透明な状況であります。

このような状況の中、当社グループは、企業理念である「私たちは、『夢のあるたくましい会社』を目指し、健康な生活づくりに貢献します。」のもと、顧客ニーズに対する迅速な対応、コスト削減や慎重な原材料の買付けにより、企業価値を向上し、お客様への安心・安全な製品の安定供給を図ってまいりました。

この結果、当第 3 四半期の売上高は 10,079 百万円（前年同期比 1.1%増）、営業利益 960 百万円（同 23.7%増）、経常利益 1,093 百万円（同 21.3%増）、第 3 四半期純利益 764 百万円（同 41.2%増）と増収・増益となりました。

主な事業の種類別セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

（精糖事業）

当事業におきましては、顧客第一主義の営業を推進し、夏場の猛暑などの影響もあり飲料用を中心に業務用が好調に推移いたしました。また、前年同期は低調であった家庭用も回復し、業務用、家庭用ともに販売数量が増加いたしました。さらに、生産コストや物流コストの上昇抑制を図ってまいりました。この結果、売上高は 8,945 百万円（前年同期比 0.6%増）、営業利益 725 百万円（同 18.7%増）となりました。

（機能性素材事業）

当事業におきましては、引続き「機能性食品素材 イヌリン」の用途開発、認知度向上に努め、新規採用の増加等の一定の成果は得られましたが、既存採用商品の販売減があったため、前年同期比では微増に留まりました。また、原料である砂糖の高止まり傾向により、生産コスト低減も計画には達しませんでした。また、「切花活力剤 キープフラワー」については、家庭用製品及び生産者向け新製品の販路開拓に努めたことにより、前年同期比では増収となりました。この結果、売上高は 643 百万円（前年同期比 1.6%増）、営業損失 50 百万円（前年同期営業損失 110 百万円）となりました。

（不動産事業）

当事業におきましては、懸案でありました清水工場跡地の有効利用について、大手家電量販店と土地の長期賃貸に係る予約契約を締結し、当期中のオープンに向けて工事が行われております。なお、既存保有物件の賃貸は概ね順調に推移いたしました。この結果、売上高は 490 百万円（前年同期比 11.3%増）、営業利益 429 百万円（同 13.6%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期末の財政状態は次のとおりであります。

総資産は、15,771 百万円（前連結会計年度末比 549 百万円増）となりました。流動資産は、5,977 百万円（同 1,188 百万円増）となりました。主な増加要因は、現金及び預金の増加によるものであります。固定資産は 9,793 百万円（同 639 百万円減）となりました。主な減少要因は、投資有価証券の減少によるものであります。

負債につきましては、4,331 百万円（前連結会計年度末比 291 百万円増）となりました。

純資産につきましては、11,439 百万円（前連結会計年度末比 258 百万円増）となりました。主な増加要因は、四半期純利益の計上による、利益剰余金の増加によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当第 3 四半期までは概ね計画に沿った業績で推移しておりますので、平成 20 年 3 月期中間決算短信（平成 19 年 11 月 6 日発表）における通期業績予想から修正はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ・減価償却費…年間見込額のうち、当四半期分を計上しております。
- ・法人税等……法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(3) 最近会計年度からの会計処理の変更

（会計方針の変更）

法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より平成 19 年 4 月 1 日以降に取得した資産については、改正後法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる影響は、軽微であります。

（追加情報）

法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より平成 19 年 3 月 31 日以前に取得した資産については、改正前法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の 5% に到達した連結会計年度の翌連結会計年度より、取得価額の 5% 相当額と備忘価額との差額を 5 年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上することとしております。

これによる影響は、軽微であります。

5. (要約) 四半期連結貸借対照表

区分	前第 3 四半期末 (平成18年12月31日)	当第 3 四半期末 (平成19年12月31日)	増減		前連結会計年度末 (平成19年 3 月31日)
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	1,798,480	2,388,937			1,799,965
受取手形及び売掛金	686,550	639,956			607,403
有価証券	21,813	311,896			51,841
たな卸資産	970,343	1,075,299			1,123,849
預け金	809,000	551,702			809,000
その他	863,655	1,010,689			397,439
貸倒引当金	△719	△586			△379
流動資産合計	5,149,124	5,977,894	828,769	16.1	4,789,119
固定資産					
有形固定資産					
建物及び構築物	866,969	694,040			764,390
機械装置及び運搬具	591,453	248,702			275,487
土地	2,087,476	2,048,834			2,087,476
その他	53,706	48,457			40,371
有形固定資産合計	3,599,605	3,040,034	△559,570	△15.5	3,167,725
無形固定資産	94,708	71,799	△22,909	△24.2	82,014
投資その他の資産					
投資有価証券	5,721,234	5,263,854			5,822,505
関係会社長期貸付金	729,500	976,100			860,000
長期貸付金	59,418	7,048			58,857
その他	499,585	522,950			542,926
貸倒引当金	△95,917	△88,605			△101,643
投資その他の資産合計	6,913,820	6,681,347	△232,472	△3.4	7,182,644
固定資産合計	10,608,134	9,793,181	△814,953	△7.7	10,432,384
資産合計	15,757,259	15,771,075	13,816	0.1	15,221,503

区分	前第3四半期末 (平成18年12月31日)	当第3四半期末 (平成19年12月31日)	増減		前連結会計年度末 (平成19年3月31日)
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)
(負債の部)					
流動負債					
買掛金	207,687	187,166			231,865
短期借入金	992,000	922,000			1,092,000
賞与引当金	31,991	38,480			72,995
役員賞与引当金	4,642	7,547			10,780
その他	1,134,282	1,484,971			819,819
流動負債合計	2,370,604	2,640,164	269,559	11.4	2,227,459
固定負債					
長期借入金	543,000	471,000			472,000
退職給付引当金	633,996	625,337			633,936
役員退職慰労引当金	54,750	68,510			60,475
その他	835,086	526,541			646,617
固定負債合計	2,066,832	1,691,389	△375,443	△18.2	1,813,029
負債合計	4,437,437	4,331,553	△105,883	△2.4	4,040,489
(純資産の部)					
株主資本					
資本金	1,524,460	1,524,460			1,524,460
資本剰余金	2,477,906	2,499,813			2,499,342
利益剰余金	6,943,205	7,501,037			6,955,405
自己株式	△590,025	△564,936			△536,764
株主資本合計	10,355,546	10,960,374	604,827	5.8	10,442,443
評価・換算差額等					
その他有価証券 評価差額金	962,742	484,726			737,321
繰延ヘッジ損益	1,532	△5,578			1,248
評価・換算差額等合計	964,275	479,147	△485,127	△50.3	738,570
純資産合計	11,319,821	11,439,522	119,700	1.1	11,181,014
負債純資産合計	15,757,259	15,771,075	13,816	0.1	15,221,503

6. (要約) 四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期 自平成18年4月1日 至平成18年12月31日	当第3四半期 自平成19年4月1日 至平成19年12月31日	増減		前連結会計年度 自平成18年4月1日 至平成19年3月31日
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)
売上高	9,968,649	10,079,691	111,041	1.1	12,801,395
売上原価	7,489,708	7,374,020	△115,688	△1.5	9,634,399
売上総利益	2,478,941	2,705,670	226,729	9.1	3,166,996
販売費及び一般管理費	1,702,630	1,745,211	42,580	2.5	2,248,040
営業利益	776,310	960,459	184,148	23.7	918,955
営業外収益					
受取利息及び配当金	77,003	91,760			124,836
その他	63,269	56,363			77,648
計	140,273	148,124	7,851	5.6	202,484
営業外費用					
支払利息	11,619	13,117			17,701
その他	3,382	2,287			6,139
計	15,001	15,404	403	2.7	23,841
経常利益	901,582	1,093,178	191,596	21.3	1,097,599
特別利益					
固定資産売却益	—	106,550			—
投資有価証券売却益	477	54,870			445,512
投資有価証券償還益	1,493	—			1,493
計	1,970	161,420	159,449	—	447,006
特別損失					
固定資産除却損	2,791	287			5,422
固定資産売却損	—	29,168			—
減損損失	—	—			442,884
投資有価証券売却損	6,127	—			6,127
投資有価証券評価損	—	27,990			—
その他	17,106	1,778			21,828
計	26,025	59,225	33,200	127.6	476,263
税金等調整前 四半期(当期)純利益	877,528	1,195,374	317,845	36.2	1,068,341
法人税等	335,636	430,397	94,760	28.2	514,249
四半期(当期)純利益	541,892	764,976	223,084	41.2	554,092

7. (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当第3四半期(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高(千円)	1,524,460	2,499,342	6,955,405	△536,764	10,442,443
当四半期中の変動額					
剰余金の配当			△219,344		△219,344
四半期純利益			764,976		764,976
自己株式の取得				△29,749	△29,749
自己株式の処分		470		1,577	2,048
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)					
当四半期中の変動額合計(千円)	—	470	545,632	△28,172	517,930
平成19年12月31日残高(千円)	1,524,460	2,499,813	7,501,037	△564,936	10,960,374

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算 差額等合計	
平成19年3月31日残高(千円)	737,321	1,248	738,570	11,181,014
当四半期中の変動額				
剰余金の配当				△219,344
四半期純利益				764,976
自己株式の取得				△29,749
自己株式の処分				2,048
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)	△252,595	△6,827	△259,422	△259,422
当四半期中の変動額合計(千円)	△252,595	△6,827	△259,422	258,507
平成19年12月31日残高(千円)	484,726	△5,578	479,147	11,439,522

前連結会計年度(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高(千円)	1,524,460	2,466,973	6,595,671	△598,426	9,988,678
連結会計年度中の変動額					
利益処分による剰余金の配当			△189,748		△189,748
利益処分による役員賞与			△4,610		△4,610
当期純利益			554,092		554,092
自己株式の取得				△49,606	△49,606
自己株式の処分		32,368		111,268	143,637
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計(千円)	—	32,368	359,733	61,662	453,765
平成19年3月31日残高(千円)	1,524,460	2,499,342	6,955,405	△536,764	10,442,443

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算 差額等合計	
平成18年3月31日残高(千円)	1,080,458	—	1,080,458	11,069,136
連結会計年度中の変動額				
利益処分による剰余金の配当				△189,748
利益処分による役員賞与				△4,610
当期純利益				554,092
自己株式の取得				△49,606
自己株式の処分				143,637
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	△343,136	1,248	△341,887	△341,887
連結会計年度中の変動額合計(千円)	△343,136	1,248	△341,887	111,877
平成19年3月31日残高(千円)	737,321	1,248	738,570	11,181,014

(注) 四半期連結株主資本等変動計算書は、前年同四半期は開示しておりませんので、記載を省略しております。

8. セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

	精糖 (千円)	食品物資 (千円)	不動産 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	8,894,248	633,510	440,890	9,968,649	—	9,968,649
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	832	832	(832)	—
計	8,894,248	633,510	441,722	9,969,482	(832)	9,968,649
営業費用	8,282,523	744,028	63,374	9,089,927	102,411	9,192,338
営業利益 又は営業損失(△)	611,724	△110,518	378,348	879,554	(103,243)	776,310

- (注) 1 事業区分の方法は、内部管理上採用している売上集計区分によっております。
 2 各事業の主要な製品または業務
 (1) 精糖 …………… 精製糖、液糖及び糖蜜
 (2) 食品物資 ……… 食品添加物、イヌリン及び切花活力剤
 (3) 不動産 …………… 不動産賃貸
 3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(103,243千円)は、親会社の管理部門に係る費用であります。

当第3四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

	精糖 (千円)	機能性素材 (千円)	不動産 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	8,945,548	643,636	490,506	10,079,691	—	10,079,691
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	270	832	1,103	(1,103)	—
計	8,945,548	643,907	491,338	10,080,794	(1,103)	10,079,691
営業費用	8,219,600	694,356	61,664	8,975,621	143,609	9,119,231
営業利益 又は営業損失(△)	725,947	△50,449	429,674	1,105,172	(144,712)	960,459

- (注) 1 事業区分の方法は、内部管理上採用している売上集計区分によっております。
 2 各事業の主要な製品または業務
 (1) 精糖 …………… 精製糖、液糖及び糖蜜
 (2) 機能性素材 ……… 食品添加物、イヌリン及び切花活力剤
 (3) 不動産 …………… 不動産賃貸等
 3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用は、親会社の管理部門及び研究開発室に係る費用(144,712千円)であります。
 なお、平成19年4月1日付にて組織改編を実施し、従来の食品物資本部を機能性素材本部と改称し、従来食品物資本部に属しておりました研究開発室を独立組織といたしました。そのため、従来の食品物資セグメントを機能性素材セグメントに改称するとともに、食品物資セグメントに配賦しておりました研究開発における基礎研究に係る費用(当第3四半期33,032千円)を当期より配賦不能営業費用に含めております。

前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	精糖 (千円)	食品物資 (千円)	不動産 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	11,388,528	825,497	587,369	12,801,395	—	12,801,395
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	408	1,110	1,518	(1,518)	—
計	11,388,528	825,906	588,479	12,802,913	(1,518)	12,801,395
営業費用	10,691,652	978,713	90,008	11,760,374	122,065	11,882,439
営業利益 又は営業損失(△)	696,876	△152,807	498,471	1,042,539	(123,584)	918,955

- (注) 1 事業区分の方法は、内部管理上採用している売上集計区分によっております。
2 各事業の主要な製品または業務
(1) 精糖 …………… 精製糖、液糖及び糖蜜
(2) 食品物資 …………… 食品添加物、イヌリン及び切花活力剤
(3) 不動産 …………… 不動産賃貸等
3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(123,584千円)は、親会社の管理部門に係る費用であります。

【所在地別セグメント情報】

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び支店等がないため、記載事項はありません。

【海外売上高】

海外売上高がないため、記載事項はありません。